



三井海洋開発株式会社 統合報告書

MODEC Group Integrated Report

2024

Pioneering a world where the ocean and humanity co-exist in harmony

ビジョン、ミッション、コア・バリュー

「中期経営計画2024-2026」の策定にあたり、その前提となるビジョン、ミッション、コア・バリューを、当社を取り巻く事業環境、加速する世界的な脱炭素及びサステナビリティの潮流を念頭に2023年に刷新しました。

VISION

海洋と人が調和しながら共生共栄できる世界を切り拓きます

MISSION

持続可能な未来の実現に向けて、独創的なフローティング・ソリューションを通じ、
海洋が持つその可能性を解き放ちます

CORE VALUES

我々は“OCEAN”にコミットします

One team

寛容、平等、相互信頼に基づいたオープンな対話を実践することで、多様性に富んだ我々の組織を一つにし、真の価値を創造します

Care

常に安全を最優先事項とし、これまで大切にしてきた、我々の仲間、アセット、環境を育てていきます

Empowered

先駆者の精神を忘れず、オーナーシップを持って判断し、仲間を信頼し、共に成長し続けます

Agile

結果に直結させる意識を高く持ち、変化に俊敏に対応し、継続的な改善を追い求めます

iNtegrity

人権の擁護、プロフェッショナルとしての行動、並びにコンプライアンスと倫理を尊ぶ文化を以て、常に正しく適切に業務を遂行します

At a Glance

三井海洋開発(MODEC)は、長いもので20年以上にわたる海洋石油・ガス生産プロジェクトにおいて、洋上で24時間365日安全に石油・ガスを生産し続けるためのトータルサービスを提供しています。大水深域や厳しい海象条件の海域における難度の高い海洋開発プロジェクトにも対応し、半世紀以上にわたり世界の海洋石油・ガス業界をリードしています。

当期利益

220 百万米ドル

2024年度実績(過去最高を更新)

事業拠点

18 力国 **27** 力所

従業員数

6,399 名

50年超の歴史

1968 年創立

プロジェクト実績

20 力国 **59** 件

累積操業年数

330 年超

O&M*1提供中の
FPSO*2/FSO*3総数

世界 **第1位**

ブラジル・プレソルト層
深海鉦区群に占める当社生産比率

30%

リース契約中の
FPSO/FSO稼働率*4

98.7%

*1 O&M(Operation&Maintenance) : 当社グループ社員などがFPSO/FSOに乗船・操業し、石油・ガスの生産業務及び保守点検、管理を行うサービス

*2 FPSO(Floating Production, Storage and Offloading system) : 浮体式海洋石油・ガス生産貯蔵積出設備 *3 FSO(Floating Storage and Offloading system) : 浮体式海洋石油・ガス貯蔵積出設備 *4 2024年度中央値

MODECのあゆみ

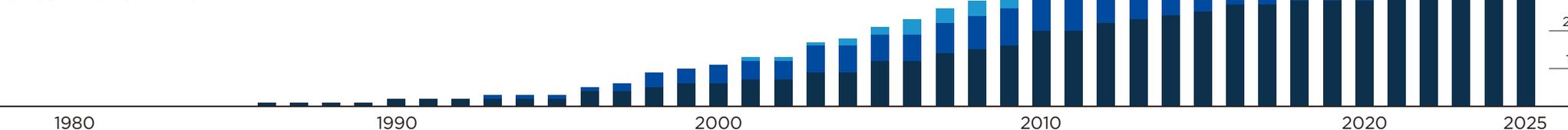
三井海洋開発 (MODEC) の前身は、海洋開発の総合エンジニアリング会社でした。
 同社の事業を引き継ぎ、「浮体式海洋石油・ガス生産設備」に特化した事業で、世界2強の一角として成長してきたのが、現在の三井海洋開発です。
 近年は、FPSOの脱炭素化、新事業の育成にも積極的に取り組んでいます。

● MODECの変遷 ● MODECのフローティング・ソリューションの進化



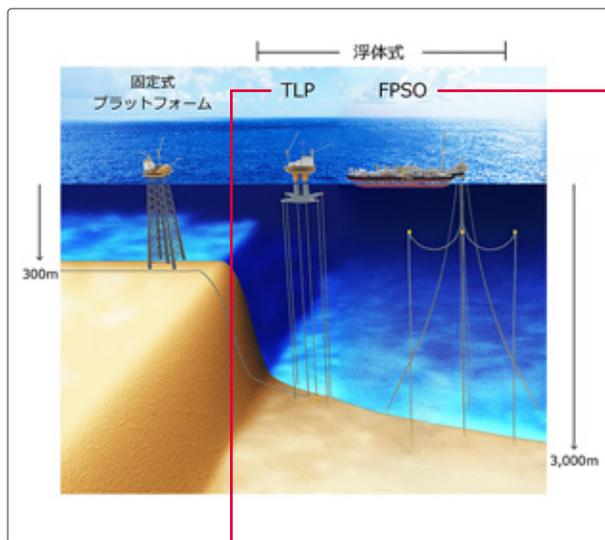
浮体式海洋石油・ガス生産設備の建造実績累計 (2025年4月現在)

■ FPSO ■ FSO ■ TLP



*1 TLP (Tension Leg Platform): 緊張係留式プラットフォーム *2 GTCC (Gas Turbine Combined Cycle): ガスタービン・コンバインドサイクル発電機

MODECの提供する主な浮体式ソリューション



TLP

TLP (Tension Leg Platform: 緊張係留式プラットフォーム) は、強制的に半潜水させた生産設備と海底に打設した基礎杭とをテンドンと呼ばれる鋼管で接続し、垂直方向の強い力を利用して上下動、揺れを最小限にすることを可能にした浮体式プラットフォームです。当社は、TLPの分野でも建造実績のあるコントラクターとして、海洋石油・ガス業界で広く知られています。

係留設備

係留 (Mooring) 設備は、波、風、潮流から受ける力に対抗してFPSOを一定位置に保持するために生産設備と海底をつなぐ設備です。「100年ストーム」と呼ばれる100年に一度あるかないかの激しい嵐に遭遇しても生産設備の位置を保持し、洋上の石油・ガス生産の安全な操業を支援する役割を担います。係留設備も多く種類があり、環境条件、水深に見合った最適なシステムが選択されます。

FPSO

FPSO (Floating Production, Storage and Offloading system: 浮体式海洋石油・ガス生産貯蔵積出設備) とは油田・ガス田のある洋上で石油・ガスを生産するための浮体式プラットフォームです。その多くは船舶の形をしており、生産した原油を船体内の貯油タンクに貯蔵後、輸送タンカーへ積み出します。FPSOは、固定式プラットフォームに代わる海洋油田生産方式として1970年代から使用され、現在では海洋石油・ガス生産設備の主流となっています。また現在のFPSOは長いもので20年以上洋上での生産活動を行います。



安全に石油・ガスを生産し続けるためのトータルサービス

FEED Front-End Engineering Design: 基本設計	海象条件や顧客の方針を理解し、FPSOの基本設計業務とともにプロジェクトコストの積算業務を行います。顧客と密なコミュニケーションをとりながら進める必要があり、近年の大型案件ではFEEDだけでも1年以上に及びます。
EPCI Engineering, Procurement, Construction, Installation: 設計、資材調達、建造、据付	当社は自社の工場や造船所を所有していないファブレス企業として、顧客との調整から設計、調達、建造、据付、試運転に至るプロジェクト・マネジメント業務に特化しています。世界中から適した業者や造船所を選定することができるのは、価格競争力の維持や臨機応変に対応できるフレキシビリティの保持にもつながりますが、複数の国籍の業者と協力し、設計どおりの万全の設備を提供できる当社の建造マネジメントにおける能力は、半世紀以上にわたる操業も含めた経験に基づくものです。
Charter チャーター	当社関連会社がFPSOを保有し、顧客にリースとO&Mを合わせて提供するのがチャーターです。あらかじめチャーター期間を定めて提供するため、定期備船契約とも呼ばれます。完工・備船開始後、契約に基づくリース収入が毎月得られ、FPSOの受注環境や原油市場価格動向に左右されない長期的に安定した事業収益計上に貢献します。
O&M Operation&Maintenance: 操業、保守	洋上に据え付けられたFPSOに当社グループ従業員が乗船し、石油・ガスの生産業務及び保守点検、管理を行うサービスです。O&Mサービスのノウハウ、またそこからのフィードバックが会社の情報資産として蓄積・共有化され、より優れたエンジニアリング・建造へとつながり、さらに顧客満足を高めたO&Mサービスを提供し続けています。
Decommissioning 撤去	生産を終えたFPSOを油田・ガス田から安全に撤去します。当社は「2009年の船舶の安全かつ環境上適正な再生利用のための香港国際条約 (通称: シップリサイクル条約)」が定める規制に準拠し地球環境に配慮した対応に努めています。

SOFEC社について

MODECグループの1社である米国のSOFEC社は係留設備のスペシャリストです。業界リーダーとして、FPSO向けをはじめとする各種係留設備の設計、建造、据付に関わるサービスを提供しています。業界で大きな信頼を得ているSOFEC社は、当社が関与しないプロジェクト向けにも係留設備を供給しています。

詳細は以下SOFEC社ウェブサイトをご参照ください。
<https://www.sofec.com/>



左から:
Internal Disconnectable Turret / External Turret / Tower Yoke / Spread Mooring

目次

I. イントロダクション

- 01 ビジョン、ミッション、コア・バリュー
- 02 At a Glance
- 03 MODECのあゆみ
- 04 MODECの提供する主な浮体式ソリューション
- 05 目次・編集方針

II. MODECの価値向上

- 06 CEO Message
- 10 MODECの事業環境
- 11 FPSO事業のビジネスモデル
- 12 価値創造プロセス
- 13 MODECの価値創造プロセスについて
- 14 MODECの経営資本

III. 中長期の成長戦略

- 15 CFO Message
- 18 戦略の変遷
- 19 ビジョン2034
- 20 中期経営計画2024-2026

IV. サステナビリティ課題への取り組み

- 22 マテリアリティ
- 24 安定的かつ持続可能なエネルギー供給への貢献
- 26 気候変動への取り組み
- 29 卓越した事業オペレーション
- 31 イノベーションによる新しい価値の創造
- 33 インテグリティと透明性のある組織
- 34 多様で才能にあふれるチームを育む安心で創造性豊かな職場

V. コーポレート・ガバナンス

- 37 取締役座談会
- 40 役員一覧
- 41 コーポレート・ガバナンス
- 46 コンプライアンス／リスクマネジメント

VI. コーポレートデータ

- 48 7カ年の財務サマリ
- 49 財務・非財務ハイライト
- 50 会社情報・株式情報

編集方針

統合報告書の発行目的

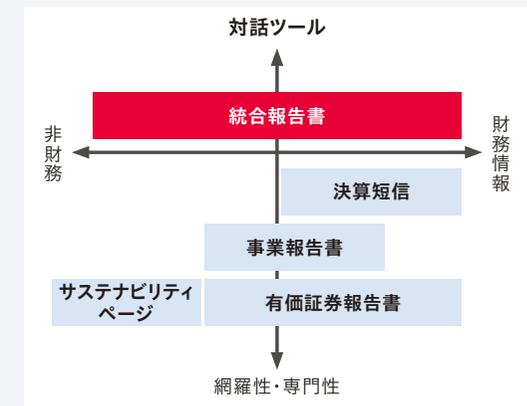
三井海洋開発 (MODEC) は、ステークホルダーの皆様に対し、当社が目指す持続的な成長と中長期的な企業価値向上の実現に向けた「価値創造ストーリー」をわかりやすくお伝えし、ステークホルダーの皆様との建設的対話に基づいた価値共創を目的としています。

統合報告書2024のポイント

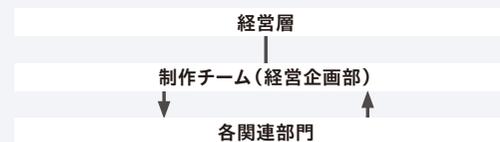
統合報告書の発行初年度として、以下の3つの点をお伝えしたく、編集しています。

- ▶ 業界情報と三井海洋開発の立ち位置 (競争優位) を示すこと
- ▶ 持続可能なビジネスモデルの解像度を高めること
- ▶ 三井海洋開発の目指す姿、その道筋をストーリーとして編集すること

情報開示体系 (各開示媒体の位置づけ)



制作体制



代表取締役社長をはじめとする経営層が制作に参画し、当社のビジョンや戦略の明確化に注力しています。さらに、次世代を担う若手グローバル社員も参加し、多様な視点と創造性を反映させることで、より魅力的で意義深い報告書の作成を目指しています。

将来の見通しに関する注意事項

本統合報告書に記載されている計画、戦略、見通し、目標、その他の将来に関する記述は、現在入手可能な情報や合理的と判断される仮定に基づいています。これらの記述には、経済環境や市場動向の変動、法規制の変更、競争状況、技術革新、自然災害やパンデミックなど、さまざまなリスクや不確実性が伴います。そのため、実際の業績や結果が記載内容と大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

報告対象期間

2024年度 (2024年1月1日～2024年12月31日)
 ※一部、2025年1月以降の情報を含みます。

参照したガイドライン

- IFRS財団「国際統合報告フレームワーク」
- 経済産業省「価値協創ガイダンス」